

単語で「つながり」という意味なんです、この患者団体の名前を決める際に、いろいろな意見が患者さん、御家族の方々から出ました。ただ、皆様、会の名前に「がん」という病名を入れるのだけはやめましょうということだけは一致していたんです。

なぜかといいますと、例えば地方によっては、がんであるということを公にすると、職業的な差別を受けてしまうような場合もあると聞きます。また、山田委員の乳がんということでありまして、例えば幼稚園とか小学校とかで、お母さん同士で乳がんであるということを言いつらい。子どもにもなかなか説明できないといった風潮が現実としてあるわけでございます。こういった風潮がある限りは、少なくとも会議の冒頭にありましたがんの検診、もしくは普及啓発ということが十分進んでいかないのではないかと考えておりますので、こういったイメージの払拭ということがひとつ大切かと考えております。

もう一つ、イメージのみならず、実際にそういった早期発見、検診というものが、がんの治療成績の向上、がんの検診の向上につながるんだという科学的な根拠に基づいた説明も同時に必要かと思っておりますので、そういった面でも、こういった会議で十分に検討することができればと考えています。よろしくお願いいたします。

■中川座長 3人に1人ぐらい失業しているんですね。

■天野委員 そうですね。

■中川座長 すごく大事な問題ですね。

それでは、衛藤さん、よろしくお願いいたします。

衛藤委員



■衛藤委員 東京大学の教育学部で健康教育の教授をしている衛藤と申します。私は、二十数年ぐらい前に、座長の中川さんがお勤めの病院で小児科医として勤めておりました。その時代、肝臓のがんにつながるB型肝炎というウイルスをどうやって予防するかといった小児科の立場から、母子感染予防の夜明け前の時代の研究をしております、これは昭和60年度から、B型肝炎母子感染防止事業という事業になりまして、お陰様で大変成果を上げていて、臨床医としては、患者さんがすごく減ってしまったということがあるんですが、これはとてもいいことだと思います。若い年代のB型肝炎のウイルスを持っている人は、非常に減っております。

そういったことで、私はその後、予防の方に関心を持ちまして、母子保健とか、学校保健の分野の研究をしております。ここ十数年ほどは、主として学校教育、特に健康教育に関わるような研究であるとか、あるいは文部科学省さんとの連携でいろいろな仕事しております。どうかよろしくお願いいたします。

■中川座長 ありがとうございます。

兼坂さん、お願いします。

兼坂委員

■兼坂委員 日本広告業協会の兼坂でございます。

日本広告業協会というのは、東京中心なんですけれども、大手、中堅の広告会社 161 社の集まりの団体でございます。それと併せて、23 都道府県に 25 の広告業団体というのがございますが、その連絡会の専務理事も務めております。

私事になりますが、先日、中川先生からお送りいただいた資料を見て、がんの検診率の低さに愕然としたことが印象です。東京の広告業の保険組合ですと、大体 71%ぐらいの受診率です。もともと私は今年の春までは電通にいたんですけれども、そこではほぼ 99%の受診率で、年間がんで亡くなっている方が2、3名ぐらいの規模になっていますので、受診率の低さは意外というか、少なくとも5割ぐらいまではいっているのかなと思っていました。

もう一点、私的なことですが、私は6人兄弟の一番末っ子でございます。一番上の姉が 25 年ほど前に大腸がんで、一時人工肛門にして、今はまた接続をしてという形で、早い段階で見つけて手術をしたから治ったという形になっています。ただ、残念ながら3番目の姉は肝臓がんで、発見自体が非常に遅れたということ、進行の早いタイプのがんで、発見から3か月後に亡くなってしまいました。

身内にそういう経験も持っておりますが、ただ、がんについての知識は余りないので、今後いろいろと勉強させていただきますが、この場では、広告・広報の代表として、普及啓蒙のためにどうしていったらいいかということについて、意見を述べさせていただきたいと思っております。

■中川座長 ありがとうございます。

塩見さん、お願いします。

塩見委員



■塩見委員 日本対がん協会の塩見でございます。対がん協会のことを御存じない方も大勢いらっしゃると思いますけれども、50 年前に設立いたしました。がん死半減をスローガンに 50 年間闘ってまいりました。

本部と 46 道府県に支部がございまして、本部では普及啓発活動をやっております。テレビ、新聞等を通じた広報活動、例えばACの公共広告機構のコマーシャル。これは山田邦子さんに今年はお登場願っています。あるいは印刷物、出版物、イベントがございまして。がんのセミナー、講演会、シンポジウム、ピンクリボン運動などです。ピンクリボンは、東京、神戸、仙台で、これも山田さんに御出席願っていますが、明日仙台で乳がんに関するフェスティバルを実施しま